

ルーテ(株)フ"エ.

17年4月頃より日本ビデ"オムにお"てIPTV電話
を販売するのには年齢層, 男女等の購買力にお"て
市場調査をお:付"た"とルーテ(株)小林社長
にお"かけ"たところ, 小林社長が知"ているところ
でできるという"と述べた。

その後, 2, 3回お合"せをお:付"たところ, 17年
5月に業務委託契約の話し"た"り, 対象人数
は10万人(1人お"た"り23000)で調査できる"と述べ,
契約を締結した。

契約にお"たり, 石井社長にお"はルーテ(株)小林社長
が調査できる企業を知"ている"と"いう"こと"で, 了解
を得"て, 契約を"する。(石井社長と小林社長は親しい友人"だ"す。)

契約にお"する"までの交渉は, 小林社長と私(小原)
がお:付"た", 2の件"の稟議は提出せず私(小原)
と小林社長との間でお:付"た"。

支払は5月13日1便, 4と6月1日2便, 4を
振込み"処理"した。

6月振込みを終了"した"時点"で, 調査内容等
小林社長にお"謝"る。

4月頃お"た"る準備"を"した"から調査方法を"お"し"ら"す
"と"お"し"る"こと"で, あ"ら"わ"ない"話"の"お"お"し"た"こと"で,

このよ3日 調査では、良「成果はできた」と判断し
直ぐに中止を一方的に言いつける。

金額が大きいこととするので、良に2万円、右方が良いと
判断し、このよ3日 態度にしました。

この仲は、石中社長には一言も報告していません

小林社長より、資金は、小林社長の調査会社に
流れているので、直ぐとは「かた好」ということとした。

早速、右方に「くさか戻してもらいましたか、少額では
ないので、話し合っていることにはした。

この時、私(小厚)は、メモに 右の内容から
5千万～6千万は費用として、便、右の2万円は好いか
と判断し、備忘の為には書き留めておいた。

月19万円～145万円が戻ってきたことが、2万円
私(小厚)手帳にメモしておいたが、正確には
好い。

その理由は戻ってきた後、私(小厚)が記載し
ていたもので、目録がかなり経過して、右が
不明確であるが、乱帳を右の2万円を右のもの
合埋、業務がハズレ企業である旨に
邪帯に急がしく、毎日10時、11時の帰社である後
私を物忘れか、メモしておいたすので、一応の
数字を書き留めた。

この件は、国税局に交付し、当初申し立てたことに
異存はないが、誘導質問により、「」から「」へは
返事をしたことが、申訳なく思っています。

中国の要人に出資金

この件は石井社長が「」公に出せば「」金の必要
はなかったと「」を述べたので、「」が「」した金子が
出たこと「」した 金額 74万円である。

この附録(小厚)は 18年 7月期の決算期までに
この表「」金を会計処理するつもりで、表「」
時点では 会計処理は「」は「」した。

この決算月には社長に「」を「」して、会計処理を
するつもりであった。

当初は

この点、国税局の誘導により、私(小厚)が
「」かして、何か「」するつもりであったと
「」する。私(小厚)現在、何か「」かは「」
「」した。思「」つかない。

現実には、Vンダルル・ムにある金額は 1億74014
で現在、私(小厚)名義の三菱東京UFJ銀行
東京営業部支店の口座に入金されている。

この内訳は

10-11(株)戻り金 175,000,000-

社会費(17月中旬以降)△70,000,000-

目置専務預り金 65,000,000-

差引金額 170,000,000-

追伸

×元は 5,000,000 の表示が(2)あるのは、

会別処理する際、研社債の了解を得て

株(小厚)は借用する種りの書類を表示、

にある。(これを備忘のため×元した。)